

12月24日(土)【ビーバー・カブ隊】手すき和紙体験(東予郷土館)

西条第12団のスカウトも住んでいる国安地区は紙の里ともいわれ、その豊かな自然の中で育まれる水と太陽をふんだんに利用した手すき和紙の製造が盛んでした。手すき和紙について調べていたところ、郷土館のホームページで手すき和紙体験の催事を見つけ、年賀ハガキを作ってみることにしました。郷土館の方に染め紙も人気と伺い両方体験させて頂くことになりました。

和紙の原料は楮(こうぞ)という木の皮だということを教わり、原料の入った水の中にハガキの漉き枠を沈め、均一になるよう揺らしながら漉きました。水を切り、枠を外すと綺麗にハガキの形になっていました。そこにお正月用に準備して頂いていた飾りを張り付けて乾燥させます。

染め紙は自分たちが好きな色を選んで、折り畳んだ和紙に吸わせていきます。広げると、とても素敵な模様ができていました。

和紙の乾燥を待っている間、郷土館で飼育されている天然記念物のカブトガニを見学しました。オスとメスの区別やこの冬最後の食事の様子を教えてもらいました。今は小さな小さな赤ちゃんカブトガニも見ることができました。



